



図書日和

2018年9月号
鹿児島中央高等学校図書館
平成30年9月21日発行

読書するには、最適な季節になりました。秋の過ごし方のひとつに、読書に親しみ、自分自身を見つめるのもいいのではないのでしょうか。さまざまなジャンルの中から、今のあなたにぴったりの本を図書館へ探しに来ませんか。

私が薦める本 体育科 田中良和 先生

『手紙屋 蛍雪編～私の受験を変えた十通の手紙～』 『心晴日和』 『ソバニイルヨ』
『手紙屋～僕の就職活動を変えた十通の手紙～』 『秘密結社Ladybirdと僕の6日間』

今回は、私が大好きな作家の喜多川泰さんの作品を紹介します。喜多川さんの本は自己啓発ものなので、小説等の場所から少し離れた場所にありましたが、司書の前之園先生がカウンターに特設コーナーを作ってくださいました。自己啓発本という難しいイメージがあるかもしれませんが、喜多川さんの作品はストーリーも非常に面白く、言葉がスッと入ってきます。その言葉の中に、あなたの未来を変える言葉があるかもしれません。

まずは『手紙屋 蛍雪編～私の受験を変えた十通の手紙～』です。大学受験で悩む主人公の和花。大学に行くなら勉強しなければいけないことはわかっているが、言い訳を探して逃げている日々が続く。そんな中、自分を変えたいと思いつき手紙屋とのやりとりを始める。手紙屋との一通目のやりとりでの約束は、なんと「勉強をやめてほしい」だった。その間に与えられたのは、「勉強は道具である」というお題だ。勉強は何のための道具なのかを真剣に考える和花。手紙屋から色々なアドバイスをもらいながら真剣に考える中で答えが見えてくる。この本を読むと、誰もが一度は考えたことがある「何のために勉強するのだろうか」、「自分は何のために存在するのだろうか」という質問に答えが出るような気がします。目標を決めてもなかなか始めることができない自分を駄目なやつだと思ったことはありませんか？勉強はやらなければいけないことだからおもしろくないと感じるのです。ぜひこの本を読んで、考え方を変え、勉強という道具を使って輝く未来を手にしてほしいと思います。

次に『手紙屋～僕の就職活動を変えた十通の手紙～』です。この本は蛍雪編の続編で、大学生になった和花が、就職活動に悩む手紙屋の弟、諒太を手紙屋と引き合わせやりとりを始めさせるというお話です。諒太は就職活動中、手紙屋のアドバイスを受けて価値観や考え方を変えていきます。考え方が変わると、身の回りで行っている事のとらえ方が変わっていき、すべてをポジティブにとらえることができるようになっていきます。この本の中で、「なりた職業があるときに、そこを目指して最短コースでたどり着こうとする事は、実は遠回りをしている」、「何のために働くかが大切で、お金を稼ぐためや会社のためということは目先の利益でしかない」という言葉や、「あなたはどんな会社に就職したいと思っていますか？大企業ですか？儲かっている会社ですか？」というような問いかけが出てきます。その答えは…。ぜひ本を手にとってみてください。私自身、この本を読んで考え方が大きく変わり、もっと早くこの本と出会いたかったと感じました。高校生は忙しい大変です。その中で自分はだめだ、自分には何の力もないと感じることがあるかもしれません。そんな時にあなたの背中をそっと押してくれる一冊です。

まだまだお薦めしたい本はありますが、あと三冊だけ。「自分の周りには何もいいことがない」とか「面白いことは何もない」と感じていませんか。そんな時には『心晴日和』を読んでみてください。あなたが気付いていないだけだということを教えてくれます。次に『ソバニイルヨ』は中学生の隼人が父の作ったロボットユージュと共に成長する話。一年間で525、600分ある時間を消費・浪費・投資のどれに使っているか、「やらなければいけない」の最低限を越えた所に楽しみがあるなど高校生に知ってほしいキーワードが数多く出てきます。最後に『秘密結社Ladybirdと僕の6日間』成功した人が集まるバーで高校三年生の颯汰がかっこいい大人になる方法を教えてもらう話です。本との出会いで人生が変わることもあります。ぜひ図書室のカウンターを覗いてください！

全国読書週間

10月27日(土)～11月9日(金)

読書標語「ホッと一息 本と一息」



7・8月の貸出統計

1年 135冊

2年 151冊

3年 142冊

合計 428冊

学年	1年								2年								3年							
	組	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
貸出数	3	6	35	3	25	8	32	23	36	9	21	35	5	15	20	10	5	18	4	9	46	30	24	6
合計	135								151								142							

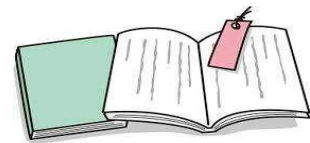
探求学習で図書館活用

2年生は、探求学習の時間に、図書館の図書や新聞・雑誌を利用して、熱心に取り組んでいます。全クラスが同じような資料を使って学習をするため、館外貸出を制限し館内利用とした図書も多く、各クラスの貸出統計には反映されませんが、図書館利用や資料活用数はかなり増加しています。1・3年生も、ぜひ教科学習や小論文対策等に役立ててください。図書館の「読書センター」としての機能はもちろんですが、「学習情報センター」としての機能を今後もフルに活用してほしいです。

8・9月の新着書

他にも、たくさんの新着書が入っています！！

- 『あやかし草紙』 宮部みゆき 著/KADOKAWA
- 『カラヴァル』 ステファニー カヴァー著/キノブックス
- 『下町ロケット ゴースト』 池井戸潤 著/小学館
- 『オリジン 上・下』 ダン ブラウン著/KADOKAWA
- 『失われた福音』 シンハ ヤコボビッチ 著/桜の花出版
- 『検証迷走する英語入試』 南風原朝和 編/岩波書店
- 『物語のなかとそと』 江國香織 著/朝日新聞出版
- 『大学学部調べ 工学部』 漆原次郎 著/ぺりかん社
- 『大学学部調べ 法学部』 山下久猛 著/ぺりかん社
- 『大学学部調べ 教育学部』 三井綾子 著/ぺりかん社
- 『ファクトチェックとは何か』 立岩陽一郎 著/岩波書店
- 『日本伝統文化の英語表現事典』 亀田尚己 著/丸善出版
- 『ファーストラヴ』 島本理生 著/文藝春秋
- 『「北朝鮮の脅威」のカラクリ』 半田滋 著/岩波書店
- 『新世界透明標本 1・2』 富田伊織 作/文藝春秋
- 『おまじない』 西加奈子 著/筑摩書房
- 『新訳 “自分らしさ”を愛せますか』 レオ ブスカリア 著/三五館
- 『噛みあわない会話と、ある過去について』 辻村深月 著/講談社
- 『海の世界地図』 Don Hinrichsen 著/丸善出版
- 『総介護社会』 小竹雅子 著/岩波書店
- 『AIに負けない「教育」』 渡部信一 著/大修館書店



クイズにチャレンジ！！

Q1 この書き出しは、どの作品でしょう？

「えたいの知れない不吉な塊が、私の心を終始圧えつけていた。」

A 『蜜柑』 芥川龍之介 B 『桜桃』 太宰治 C 『檸檬』 梶井基次郎

Q2 私は誰でしょう？

- ・1890年生まれのイギリス人です。
- ・一度も学校に通ったことはなく、母親や家庭教師から学びました。
- ・36歳の時、自分の小説さながらの謎の失踪事件を起こして、世間を騒がせました。
- ・2番目の夫が考古学者で、遺跡発掘に同行したことから生まれた作品がいくつかあります。

展示 「NDC(日本十進分類法)5類 工学・技術の本」

5類には、520建築学、538宇宙工学、548情報工学、558海洋開発、587染色、596料理、599育児等があります。探求学習でもよく利用する環境問題、宇宙開発、エネルギー関連図書や、料理、ファッション等の図書をわかりやすく展示しています。5類には、最新の情報や未来につながるような本、ビジュアルで楽しむ本も多く、わくわくしながら見たり読んだりできます。



図書委員会から

読書週間中には、図書展示やミニイベント等を行う予定です。詳しい内容については、10月号でお知らせします。お楽しみに！



あとがき

さあ、田中先生お薦めの本を読んでみましょう。紹介された本は、図書館のカウンターに展示しています。クイズの解答もカウンターに掲示しています。

